

青森県社会教育委員の会議第5回全体会 会議概要

日 時	平成30年9月3日(月) 13:00~15:00
場 所	県警本部 6階 教育委員会室
出席者	<p>《委員》敬称略 10名 佐藤 貴子 三国 亜希子 吉川 康久 野呂 英樹 笹山 和信 前田 智子 七條 いつ子 吉田 圭子 茂木 典子 土井 良浩</p> <p>《事務局》 渡部 靖之(生涯学習課長) 小舘 孝浩(生涯学習課学校地域連携推進監・課長代理) 宮野 孝晶(企画振興GM・主任社会教育主事)他2名</p> <p>《その他》 伊藤 明德(学校教育課 課長代理)</p>
内 容	<p>1 開会 2 教育長あいさつ 3 案件 (1) 専門部会報告について (2) 調査研究報告書(案)について (3) その他 4 閉会</p>
配付資料	<p>《事前配布資料》 資料1 専門部会報告(第4、5回専門部会) 資料2 調査研究報告書(案)</p>

1 開会

(内容省略)

2 教育長あいさつ

(内容省略)

3 案件(1) 専門部会報告について

土井部会長より、第4、5回専門部会報告。

3 案件(2) 調査研究報告書(案)について

<第1章>

事務局より、第1章について説明。部会長より専門部会報告。

議長 第1章について、質問や意見があればお願いしたい。

(意見・質問は特になし)

<第2章>

事務局より、第2章について説明。

議長 第2章について、質問や意見があればお願いしたい。

- 地図をオープンストリートマップで作成しているが、特に大館エリアの地図は余計な情報がたくさんあるため、国土地理院の地図を掲載した方がよい。また、地図にスケールの記載がない。十和田商店街エリアはグーグルマップなのでしっかりとスケールが掲載されている。
- 大館エリアの概要について「少子化・高齢化ともにそれほど深刻な状況ではない。」とあるが、この標記で本当によいか。確かに県や市と比べると高齢者の割合は少し低いかもしれないが、日本全体で見ると少子化・高齢化は進んでいる。文章の表現を変えるべきである。

<第3章>

事務局より、第3章について説明。

議長 第3章について、質問や意見があればお願いしたい。

- NPOの用語の解説を下の脚注に記載すべきである。NPO団体の「団体」の記載は不要であるため、「NPO」で良い。
- 第31期や32期でまとめた提言に対して県の動きはあったのか。今回33期の報告書を提出した後にどのような動きがあるのか。第3章の提言が3ページでは少ないと感じる。報告書が施策にしっかりと反映されていることが分かるように報告書に記載すべきである。報告書を提出するだけでなく、施策につながっていることが分かる必要がある。

事務局 報告書は県の施策や事業につながっている。報告書は、県の施策だけではなく、市町村の社会教育委員の施策や社会教育団体など活動されている方にとって参考になるものである。県に対する施策と市町村に対する施策に生かせるような報告書であると考えている。例えば、前期(第32期)の家庭教育のつながりに関する報告書から、一昨年と昨年の県の事業に反映されている。このような報告書があるので、事業が必要であるという強い根拠になる。

- 事実が主で提言が1文くらいしか記載されていない。既存で頑張っている3団体、3エリアがあり、その団体に対して行政として事業が組みやすいような文言が文章から抜けているため、報告書の提言に記載することが必要である。
- ハピタのは商店街が絡んだ事業の補助金など融資の仕組みを使っているのか。もし、使っているのであればその点が具体的に記載できればよい。

- 「県内外の民間と行政が連携・協働している団体の先進事例について」の後の文章が分かりづらい。漠然としているため、もっと具体的に記載すべきである。
- コーディネーターの記載について、八戸市では「地域密着型コーディネーター」という名称がある。「学校地域連携協議会」の中のコーディネーターという位置付けである。大館公民館の職員の方も地域密着型コーディネーターであるため、八戸市の「コーディネーター」という記載はどうか。

<資料編>

事務局より、資料編について説明。

議長 資料編について、質問や意見があればお願いしたい。

<確認事項>

- ① 10月17日に茂木議長と土井副議長から教育長へ報告書を提出する。
- ② 委員全員に修正案を見ていただき修正する時間が無いため、茂木議長、土井副議長に確認をいただいたものを報告書の完成版とすること。

3 案件(3) その他

- なし

4 閉会

(内容省略)

(以上)